

Ursula and Fritz Melchers Travel Award を受賞して

氏名	千葉 祐規乃	
所属	東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御部門	
発表論文 タイトル	IL-27 Induces Antitumor Activity by Promoting Differentiation of HSCs to M1-Like Antitumorigenic Macrophages and their Mobilization into Tumor	

この度は、Ursula and Fritz Melchers Travel Award に選出して頂き誠に有難うございました。私は、12月5日から7日までの3日間、沖縄県の沖縄コンベンションセンターで開催された第45回日本免疫学会学術集会に参加させていただきました。

本学会では、IL-27 Induces Antitumor Activity by Promoting Differentiation of HSCs to M1-Like Antitumorigenic Macrophages and their Mobilization into Tumor という演題でオーラルプレゼンテーション及びポスターセッションにて発表させて頂く機会を得られましたことに誠に感謝しています。

本研究では、IL-6/12 サイトカインファミリーに属する IL-27 による抗腫瘍効果の誘導に繋がるミエロイド系前駆細胞の分化増殖と動員における IL-27 の役割と作用機序について報告させていただきました。

詳細としましては、IL-27 が直接造血幹細胞に作用し、ミエロイド系前駆細胞の分化増殖を誘導すること、腫瘍内に浸潤している細胞は CD11b⁺細胞が多いこと、また免疫活性に向かうことから、IL-27 は腫瘍内に M1 マクロファージ様の抗腫瘍作用を有するミエロイド系細胞の分化増殖と動員を介した抗腫瘍効果について発表させて頂きました。

この度の学会では、著明な先生方の講演を数多く聞く事ができ最先端の研究発表を聞く事で現在の問題点や新たな治療に繋がるメカニズムの解析など、1つの現象に対して多様な観点から他の研究チームがアプローチしている事で私自身、より視野を広げてみる事ができ多角的に物事を見るように心がけて行きたいと感じました。

その他、質問やアドバイス等頂く事で研究へのモチベーションも高まり、他の参加者との交流もできたことで有意義な時間を過ごせました。

そして、今後の私自身の研究に繋がる発表なども数多く見受けられたことで刺激をもらったのは、非常に嬉しく思います。

最後に、この様な機会を与えて頂きました審良静男先生をはじめ選考に関わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

また、推薦人になって頂いた東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御部門 善本隆之教授に深く感謝の意を表したいと思います。